

ニューズレター 7月

2020. 7. 1発行



今月は築20年目にやっておきたいリフォーム(間取り編)についてお届けします。



築20年を過ぎたら家の老築化対策のリフォームだけでなく、コレカラの暮らしのために間取りを見直しましょう。今までよりも更に快適・便利な家にするために！築20年を過ぎたらやっておきたいリフォーム-間取り編をご紹介します。

1、今の家の間取りのまま、コレカラも大丈夫？



家が築20年と言うことは、中に住んでいる人もその分年を取っています。子供は大人になり、家族の人数が変わり、体力も変わり、食べ物の好みも変わったという人も多いことでしょう。

年月が経てば人の暮らしは変わり、それに伴って必要になる間取りも変わります。家作りでの費用の掛け方、こだわりたい場所も以前とは違っているはず。

今の家の間取りのまま、果たしてコレカラ先も快適・便利に暮らせるでしょうか？

築20年を過ぎたら、住んでいる人の年代の変化、暮らしの変化に合わせて、家の間取りも成長させてあげましょう。そのためには、今までの20年より更に

快適・便利な「コレカラの20年」を意識してリフォーム計画を立てていくことが大切です。

2、築20年目のリフォームでは、毎日の動線から段差を無くそう



若いうちは階段でも段差でも簡単に上り下りができましたが、年を取るに従って危険が増していきます。家庭内事故のデータを見ると、高齢者のケガの原因として多いのは、階段からの落下や段差での転落によるものです。

特に注意しておきたいのが水まわりバリアです。水まわりバリアとは、毎日通る水まわり動線の途中にある階段や段差などのバリア(障害物)のこと。築20年目のリフォームでは、コレカラ先の暮らしが更に安全・快適になるようにこの水まわりバリアを無くしておくことが大切です。

どうしても階段使う場合はホームエレベーターを付けるリフォームも！
思い切ったリフォームだが将来を考えると無駄な投資にはならないはず。

【動線から段差を無くしておきたい場所】

- ・寝室～トイレ
- ・浴室が1階にある家は、寝室も1階へ移動させておきましょう。
- ・寝室～浴室・洗面所
- ・2階の部屋が空いたらそこをゲストルームや趣味の部屋として使う。
- ・洗濯機～物干し場
- ・庭にウッドデッキを付けて段差無く庭に出られるようにしておくなどの
- ・キッチン～食卓
- ・工夫で、毎日の動線から段差を無くすることができます。
- ・玄関

どうしても階段を使う家の場合にはホームエレベーターを付ける手もあります。リフォーム費用は300万～で、思い切ったリフォームですが、将来を考えればムダな投資にはならないはず。

*エレベーター設置に伴う、構造体の改修、内装の改修、電気設備の増設などの費用も掛かります。

*但し、ホームエレベーター設置後は、法定点検がついてまいりますので、毎年点検費用がかかります。

3、築20年目のリフォームでは、子育ての家から自分のための家作りを



子供が独立して子供部屋が空いている、客間として作った和室がほとんど使われていない、というようなことはありませんか？空き部屋をコレカラもずっとそのままにしておくようでは、家が傷むもとですし、何よりとてももったいないことです。

そんな空き部屋があったら、これから先の人生、家にいる時間が更に充実するよう、夫婦それぞれの個室を作るプランを考えましょう。

写真は、簡単組立の1.5畳タイプの防音室。ミニシアターやカラオケルームとして使用できる。

自分だけの居場所があると、家に居る時間が楽しくなります。例えば防音室を作って近所に気兼ねせずに音楽を楽しむ部屋を作る、書庫にして読書を楽しむ部屋にするというアイデアもあります。子育てが一段落したら、大人のための家作り、自分のための家づくりを考えてみて下さい。

間取りを変える時は、移動型の可動間仕切り収納を使えば、普段はひろびろワンルーム、でもいざというときは個室になる！というように手軽に間取りを変えられるようになります。

4、築20年目のリフォームでは、寝室を充実させておきたい



人生の1/3を過ごすと言われている寝室です。新築の時には寝室までなかなか手が回らないものですが、築20年目をキッカケにして、ぐっすり気持ちよく眠れるストレスフリーな寝室へリフォームしましょう。コレカラの20年が更に健康で快適な毎日になります。

ポイントは2つ。水まわりと隣接させておくこと。夫婦それぞれがつかず離れずの関係でいられるようにしておくことです。ベッドとベッドの間にスライド式の間仕切り戸を取付けリフォームするだけでも、絶妙な距離感を持った快適な寝室作りができます。

5、今までの20年より快適・便利なコレカラの20年に



20年前と比べると、設備機器は大きく進化しました。例えば毎日開け閉めしないといけない雨戸も、集中的に操作できる電動シャッターがあります。電動シャッターなら、毎日の開け閉めの面倒から今は一箇所で解放されるのはもちろん、窓を閉めたままシャッターの開閉ができるので、冷暖房された室内の空気が逃げだすこともなく省エネ・エコになります。家の寿命はどんどん延びています。昔と違って築20年は、コレカラまだまだ長く住み続ける家です。

築20年目のリフォームではただキレイにするだけのリフォームから一歩進んでコレカラの20年が今までの20年より更に快適・便利になるようリフォームしましょう。

採光可能な電動シャッター
(スラットが入っているため、風を通します)

株式会社 渡辺組
本社 海津市海津町高須町720-1
0584-53-0174
海津市海津町馬目371-3 (コーポ日新1F)
0120-202-988
E-mail info@watanabegumi-kaizu.com
URL http://www.watanabegumi-kaizu.com/

土木建築
リフォーム

*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご遠慮なくお申し付け下さい。皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。